

北海道大学大学院経済学院
会計情報専攻（専門職大学院）入学試験

令和2年度 専門科目（共通科目）会计学 試験問題

試験期日：令和元年8月27日

試験時間：9時00分～10時30分

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはならない。
2. 受験番号は、監督員の指示にしたがって解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
3. 解答は、解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
4. 試験場退出は試験開始30分が経過するまで認めない。

会計学

問題Ⅰ～問題Ⅲのすべてに解答しなさい。

問題Ⅰ. 以下の1～7のすべての問題に答えなさい。

1. 以下の文章中の（ A ）～（ D ）に当てはまる語句を答えなさい。

金融商品取引法にもとづく開示書類のうち、有価証券届出書は（ A ）市場における開示書類であり、有価証券報告書は（ B ）市場における開示書類である。また、金融商品取引法にもとづく連結財務諸表は、連結貸借対照表、連結損益計算書及び連結（ C ）計算書、連結株主資本等変動計算書、連結（ D ）計算書、連結附属明細表である。

2. 以下の文章中の（ E ）～（ G ）に当てはまる語句を答えなさい。

企業再編における合併では、一方の会社が存続会社となり他方の会社が消滅会社となる（ E ）合併と両社が消滅会社となる（ F ）合併がある。（ E ）合併において、消滅会社の時価評価した資産と負債の差額と合併の対価との差額が（ G ）となる。

3. 以下の文章中の（ H ）～（ K ）に当てはまる語句を答えなさい。

税効果会計において、企業会計の資産・負債と課税所得計算での資産・負債の差額で、将来に解消が見込まれるのが（ H ）差異であり、企業会計では費用・収益として計上されるが課税所得計算では損金・益金に算入されず、将来も解消が見込まれないのが（ I ）差異である。決算において、債権に対する貸倒引当金を計上したが課税所得計算では損金不算入となるとき、この差異が（ H ）差異であれば、税効果会計を適用すると、借方に（ J ）を、貸方に（ K ）を計上する。

4. 以下の文章中の（ L ）～（ N ）に当てはまる語句を答えなさい。

（ L ）や工事負担金により取得した有形固定資産については、その金額相当額を控除して資産の貸借対照表価額とすることができる。これを（ M ）

という。この場合、その後の減価償却費の金額は（ N ） くなる。

5. 以下の文章中の（ O ）～（ P ）に当てはまる語句を答えなさい。

外貨換算会計において、外貨建取引は、原則として、その取引の（ O ）時の為替相場による円換算額で記録する。決算では、外貨、外貨建金銭債権債務については、（ P ）時の為替相場による円換算額で記録する。

6. 以下の文章中の（ Q ）～（ R ）に当てはまる語句を答えなさい。

無形資産も有形固定資産と同様に償却を行うが、一般に償却方法は（ Q ）法、記帳方法は（ R ）法とする。

7. 次の取引を仕訳しなさい。

（1）次の取引の仕訳を、①売り手と②買い手の両方について示しなさい。営業用自動車を 900 円で自動車販売会社から購入し、代金のうち 400 円は小切手を振り出して支払い、残額は月末払いとした。なお、商品売買は三分法による。

（2）次の取引の①と②の時点での仕訳を示しなさい。C 社は D 建設会社に建物の建設を 10,000 円で依頼し、①代金の一部として 3,000 円の小切手を振り出して支払った。②その後、建物の建設が完成し、代金の未払い分として 7,000 円の小切手を振り出して支払った。なお、支払代金は全て建物勘定に振り替えた。

（3）得意先の E 商店が倒産したため、同店に対する売掛金 2,400 円が貸し倒れとなった。ただし、貸倒引当金の残高が 2,000 円ある。

（4）F 株式会社は株主総会において、利益準備金 40 円、別途積立金 300 円、株主配当金 400 円のように配当と処分を決定し、残額は繰り越すこととした。繰越利益剰余金は 1,000 である。

問題Ⅱ. 以下の1～4のすべての問題に答えなさい.

1. 当工場では、製品Zを大量生産している. 以下の資料に基づいて、仕損品評価額（A）、月末仕掛品原価（B）、完成品総合原価（C）、及び完成品単位原価（D）を計算しなさい.

【資料】

(1) 生産データ：kg

月初仕掛品	700	(40%)
当月着手	4,100	
小計	4,800	
仕損品	200	(80%)
月末仕掛品	600	(50%)
完成品	4,000	

- ・材料は工程の始点ですべて投入している. また（ ）内の数値は、仕掛品が加工進捗度を、仕損品が発生点を表している.
- ・仕損は、通常発生する程度のものである. 仕損品の評価額は、1 kgあたり 20 円である.
- ・仕損の処理は、度外視法による.
- ・完成品と月末仕掛品への原価配分は、平均法を用いている.

(2) 原価データ：円

	直接材料費	加工費
月初仕掛品	162,200	88,180
当月製造費用	893,800	1,249,820

2. 以下の資料に基づいて固定予算による差異分析を行い、予定配賦率（ E ）、予算差異（ F ）、及び操業度差異（ G ）を計算しなさい。予算差異と操業度差異については、有利差異・不利差異を明示すること。

【資料】

（1）年間予算データ

年間基準操業度 26,400 機械運転時間

製造間接費予算 18,480,000 円

（2）当月実際データ

実際機械運転時間 2,130 時間

製造間接費実際発生額 1,572,000 円

3. クラーク製作所が製造・販売している製品 X に関する次の資料にもとづいて、以下の設問に答えなさい。

【製品 X に関する当期の資料】

売上高 800,000（千円）（400（千円） / 個×2,000 個）

変動製造費 560,000（千円）

固定製造費 140,000（千円）

営業費（すべて固定費） 40,000（千円）

※上記以外に、営業利益の計算に必要な収益・費用はない。

（1）当期の限界利益率（ H ）を求めなさい。

（2）当期の損益分岐点売上高（ I ）および損益分岐点販売数量（ J ）を求めなさい。

（3）クラーク製作所は、来期の利益計画を立てている。これに関して、下記の①と②について答えなさい。

①来期は、単位あたりの変動製造費が、当期より 20% 上昇すると見込まれている。この場合、他の条件は変化しないものとしたとき、当期と同額の営業利益を得るために必要となる製品販売数量（ K ）を求めなさい。

②来期についての調査をさらに進めていくと、上記①にあるように、単位あたりの変動製造費が当期より 20%上昇するというに加えて、営業費も当期より 10%増加するということが判明した。この場合、他の条件は変化しないものとしたとき、当期と同額の営業利益を得ることのできる売上高（L）を求めなさい。

4. 次の【文章】は、原価計算基準から抜粋したものである。空欄（M）～（O）に入る用語を答えなさい。ただし、同じ記号には同じ用語が入るものとする。

【文章】

- ・材料の実際の消費量は、原則として（M）によって計算する。ただし、材料であって、その消費量を（M）によって計算することが困難なもの又はその必要のないものについては、（N）を適用することができる。
- ・総合原価計算において、（O）が生ずる場合には、その価額を算定して、これを主産物の総合原価から控除する。（O）とは主産物の製造過程から必然に派生する物品をいう。

問題Ⅲ. 以下の1～2のすべての問題に答えなさい。

1. 以下の(1)～(5)は、『監査基準』の規定である。(A)～(J)に入る適当な語句を解答欄に記入しなさい。

(1) 財務諸表の表示が適正である旨の監査人の意見は、財務諸表には、全体として(A)がないということについて、(B)を得たとの監査人の判断を含んでいる。

(2) 監査人は、職業的専門家としての(C)を払い、(D)を保持して監査を行わなければならない。

(3) 監査人は、十分かつ適切な(E)を入手するに当たっては、財務諸表における(F)を暫定的に評価し、リスクに対応した監査手続を、原則として(G)に基づき実施しなければならない。

(4) 監査人は、監査の各段階において、(H)等と協議する等適切な連携を図らなければならない。

(5) 監査人は、(I)を前提として財務諸表を作成することの適切性に関して合理的な期間について(J)が行なった評価を検討しなければならない。

2. 以下の(1)～(5)は、財務諸表監査に関する専門用語の説明である。それぞれの説明文によって説明されている専門用語を解答欄に記入しなさい。

- (1) 資産の現物を実際に確かめる監査手続
- (2) 記録や文書の計算の正確性を監査人自らが計算して確かめる監査手続
- (3) 監査意見の表明に当たってその影響の重要性及び広範性を考慮することが必要となる事項
- (4) 経営者の財務諸表の作成責任と、監査人の意見表明責任を区別すること
- (5) 財務諸表の利用者を欺くために財務諸表に意図的な虚偽表示を行うこと